

プルトニウムの危険性を知り適切に対応する

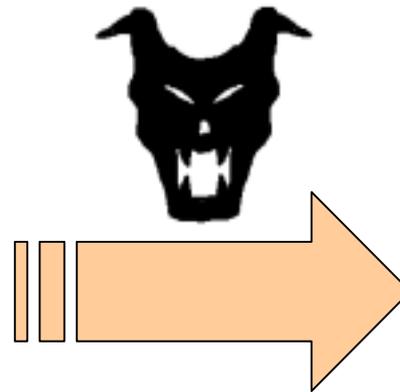
プルトニウムの危険性その (プルトニウムの原子爆弾への転用)

プルトニウムの兵器への転用？

発電用原子炉からのプルトニウムは、原子爆弾の材料としては技術的な課題が多いが、原子爆弾の材料に100%利用されないとは言いきれない。



原子力発電所の燃料



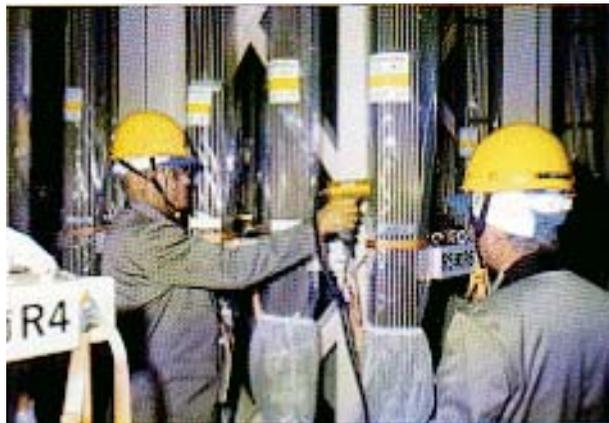
原子爆弾

それでどうする？

核兵器への転用がないよう、厳正に管理する。
第3者が容易に入手できないような構造とする。

プルトニウムの危険性を知り適切に対応する

核兵器への転用が無い事が国内外からも判るように、
IAEA による厳正なる査察を受けている。



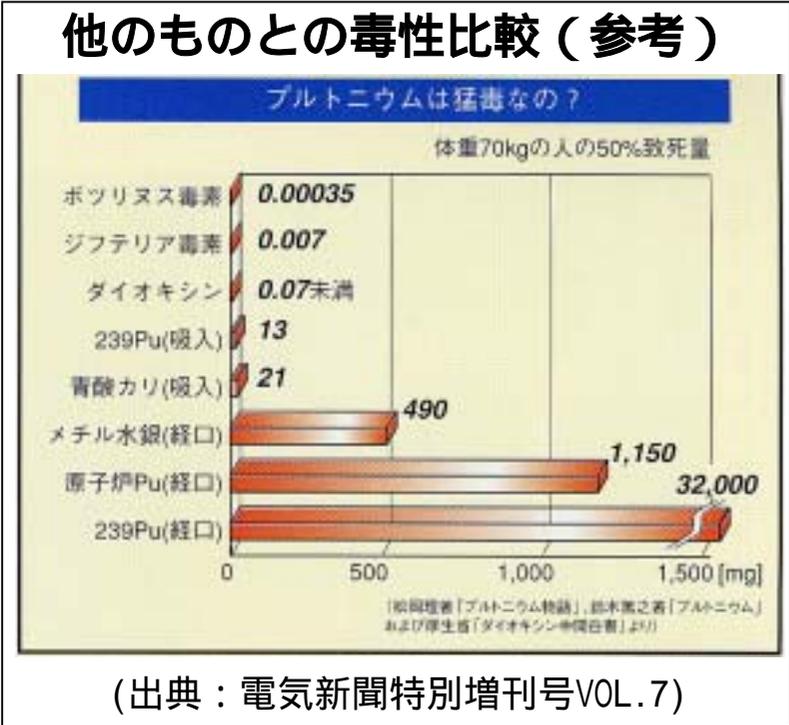
IAEA : 国際原子力機関
(International Atomic Energy Agency)

プルトニウムの危険性を知り適切に対応する

プルトニウムの危険性その (プルトニウムの人体への毒性)

肺に沈着すると危険

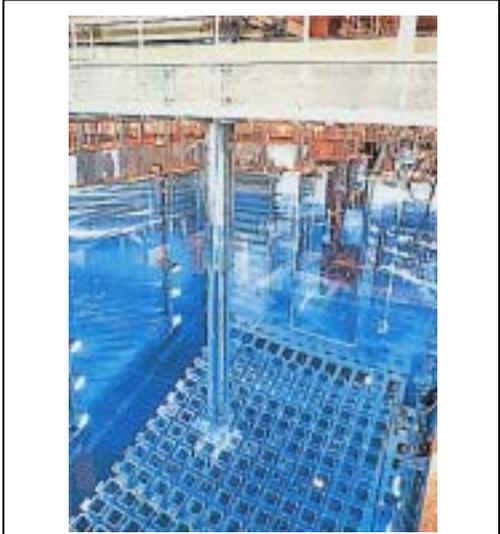
プルトニウムは口から入ってもすぐ体内から排出されるが、呼吸と共に体内に取り込まれ肺に沈着すると人体への影響が懸念される。



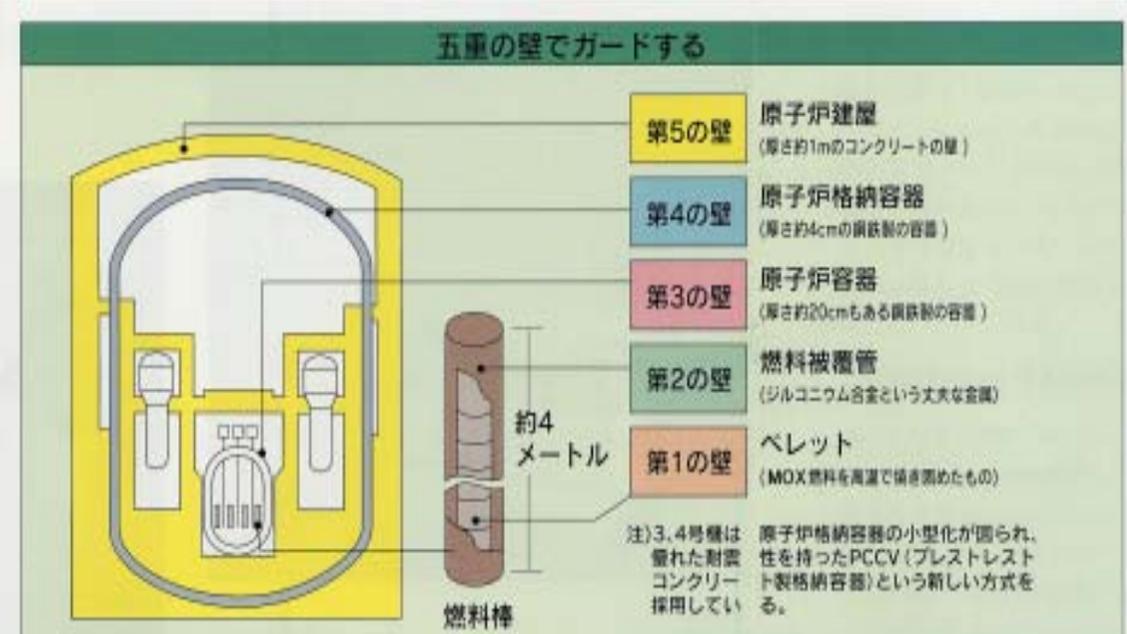
それでどうする？
肺に取り込めないような工夫をする

プルトニウムの危険性を知り適切に対応する

五重の壁や深い水中に収めて容易に取り出せない，容易に近づけないようにする



MOX燃料は，水中深く保管



燃料ペレットは瀬戸物のように焼き固められており，それ自体容易に飛散しない形状としている。

MOX燃料ペレットは，ウラン燃料ペレットより50 くらい早く溶け始めますが，2,500 以上でなければ溶けず，ガス化して飛散する可能性は少ないのです。(通常運転中は，1,700 程度)燃料に混ぜるプルトニウムは，水に溶けにくい物質であり，さらにペレットは瀬戸物のように焼き固められており，非常に水に溶けにくく水中に溶け出して拡がる可能性は極めて低いのです。鉛と同じくらい比重が重く(11.6)，遠くまで飛散が拡大することはありません。

